

鉄道駅におけるホームドアの整備促進について

視覚障害者等を始めとした全ての駅利用者の安全性向上を図ることを目的に、線路への転落を防止するホームドア（可動式ホーム柵を含む。）の設置を促進している（平成25年9月末現在で52路線574の駅で設置）。



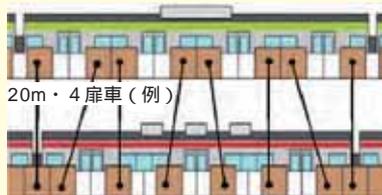
ホームドア（転落防止）

【政府ホームページ掲載先】

「ホームドアの設置状況」については、下記ホームページに掲載している。

https://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk6_000022.html

ホームドアの更なる整備促進を図るため、国土交通省としては車両扉位置の相違やコスト低減等の課題に対応可能な新たなタイプのホームドアの技術開発に対して支援を行っている。



18m・3扉車（例）



上昇時



上昇時



戸袋



下降時



下降時

異なる扉位置や、車両の停止位置がかなりずれた場合でも、戸袋が移動することにより対応が可能。

従来のホームドア部分を昇降するバーやロープとすることで、開口部を広くし、複数の扉位置に対応可能。また、軽量化により、設置コストの低減を図る。